

大津市中心市街地活性化協議会プロジェクト会議 事業計画及び活動実績

| | |
|-----------|----------------|
| プロジェクト会議名 | 湖岸デザインプロジェクト会議 |
|-----------|----------------|

| 年度 | 活動計画（予定含む）・活動実績※具体的に | 中活協議会予算支出予定額・実績額内容 |
|----------------|---|---|
| 平成25年度 （実績） | <ul style="list-style-type: none"> ①シンポジウムの開催（8/3）びわ湖ホール <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖・芸術・文化-大津市湖岸エリアの将来像を考える- ・県立大学生による作品プレゼンテーション ・基調講演：伊東豊雄氏 ・パネルディスカッション ②びわ湖こどもアートセッションin大津の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもを対象に「つくる まなぶ ふれる」をコンセプトとしたアート体験事業を実施（※詳細は別添報告書参照） ③湖岸エリアの現状把握 <ul style="list-style-type: none"> ・湖岸エリアの歴史、変遷を把握 ④水辺をとらえる研究会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会 ・フィールドワーク | 実績額：528,819円 内訳： ①シンポジウム開催費 200,000円 ②びわ湖こどもアートセッション開催費 250,000円 ④研究会開催費 78,819円 （資料代、貸し室代、学生交通費等） |
| 平成26年度 （実績） | <ul style="list-style-type: none"> ①水辺をとらえる研究会の開催 （プロジェクト会議2回 研究会5回開催） <ul style="list-style-type: none"> ・湖岸の活用方策の検討 ・水辺空間模型の作成 ②公開シンポジウムの開催 「大津湖岸なぎさ公園の水空間デザインを考える」 基調講演 松岡拓公雄滋賀県立大学教授 作品プレゼンテーション 滋賀県立大学 成安造形大学 ③びわ湖こどもアートセッション 2014の開催 「アートをつくる、アートをまなぶ、アートにふれる」 *現代作家とともにアートをつくる *アートにふれる | 実績額：1,022,568円 内訳： ①～② 研究会開催費 164,896円 （シンポジウム開催費、資料代、学生交通費等） 模型製作費 408,672円 ③びわ湖こどもアートセッション開催費 450,000円 |
| 平成27年度 （実績） | <ul style="list-style-type: none"> ①大津市の許認可等関係課担当職員（都市計画、景観、公園、建築確認）との円卓会議開催 <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県立琵琶湖文化館のあり方について ・同館の利活用に係る諸法令等の規制について ②大阪市大正区現地調査実施 「大正区が水辺に力を入れる理由」 説明等：筋原章博大正区長、内山泰博総務課政策プロモーション担当課長 他（大正区役所） 視察先：壁紙屋本舗、尻無川河川広場、サンセット2117 ③報告書（提案）のとりまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・なぎさ公園おまつり広場～なぎさのテラスのエリアについて ・滋賀県立琵琶湖文化館について | 実績額： ② 調査経費（委員旅費等） 28,840円 |
| 平成28年度 （実績） | <ul style="list-style-type: none"> ①大津湖岸なぎさ公園の水空間デザイン案作成 （滋賀県立琵琶湖文化館を中心にデザイン検討） ②滋賀県、大津市に対しての提案手法の検討、調整 | 実績額 ① パース制作 216,000円 |
| 平成29年度 （予定） | <ul style="list-style-type: none"> ①琵琶湖の拠点エリアとしてのなぎさ公園エリアの活用検討 （昨年度作成したパース（案）を基に） ②自転車道、駐車場、歩道等のあり方検討 （利用者の快適性、安全性、動線の確保等） | ①, ② 提案資料作成及び調査経費 500,000円 |